

## 【0108】Bev+FOLFIRI 療法

## 【投与スケジュール】1 コース=14 日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W
ペバシズマブ	アバステン	Bev、BV、Bmab	5mg/kg	↓ Day1	
イリノテカン	イリノテカン	IRI、CPT-11	150mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1	
レボホリナート	レボホリナート	I-LV	200mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	400 mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400 mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1	

## 【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
<b>Day1</b>			
①	生食注シリンジ 10mL	1 本	
②	アバステン	5mg/kg	初回 90 分
	生理食塩液 100mL	1 本	
③	グラニセトロンバッグ(3mg/100mL)	1V	30 分
	デカドロン(3.3mL/5mL)	3A	
④	イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	(同時に) 2 時間
	生理食塩液 250mL	1 本	
④	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑤	フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	全開で
	生理食塩液 50mL	1 本	
⑥	フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	46 時間
	生理食塩液	(※2)	
⑦	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ

(※1)アバステンは初回 90 分、過敏症状等問題なければ 2 回目 60 分、3 回目 30 分と短縮可

(※2)インヒューザーポンプ使用時は、生食の液量を調整

催吐性	中等度リスク
組織傷害性	アバステン:非炎症性 イリノテカン:炎症性 フルオロウラシル:炎症性
代表的副作用	アバステン >10%…高血圧、蛋白尿、出血 <1%…血栓塞栓症、消化管穿孔、創傷治癒遅延、可逆性後白質脳症症候群

	イリノテカン >10%・・・骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%・・・間質性肺炎 フルオロウラシル >10%・・・食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明・・・心筋虚血、白質脳症
--	---

【注意事項】

(アバスタチン)

- 初回の投与速度は 90 分投与とし、問題が無ければ、60 分、30 分と短縮可

(イリノテカン)

- UGT1A1 遺伝子多型検査時には、院内規定の説明文書・同意書を使用する